

一般社団法人 日本家政学会関東支部  
2021年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

# 一般社団法人日本家政学会関東支部 2020 年度通常総会次第

日 時： 2021 年 4 月 24 日（土）13 時 00 分～13 時 30 分

会 場： Zoom 開催

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

第一号議案 2020 年度事業報告の承認に関する件

第二号議案 2020 年度収支決算報告に関する件

第三号議案 2020 年度監査報告の件

第四号議案 2021 年度事業計画案の件

第五号議案 2021 年度収支予算案の件

5. 議長解任

6. 閉 会

## 【第一号議案】2020年度事業報告の件

### 1. 総務関係

#### (1) 会員の状況 (2021年3月31日現在)

正会員 938名 (永年会員 47名を含む)

学生会員 67名

計 1,005名

#### (2) 総会 (規約第12条 (1))

##### 2.1) 通常総会

2020年4月18日(土)於 大妻女子大学が新型コロナウイルス感染防止対策により中止となり、  
2020年4月27～5月4日(月)までメール審議とした。

2019年度事業報告及び収支決算

2020年度事業計画及び予算案の承認など

#### (3) 役員会開催 (規約第12条 (4)) オンライン開催

##### 3.1) 第1回 2020年4月21日(土) メール審議

出席(27名): 支部長、副支部長2、幹事21、監事2、オブザーバー1

##### 3.2) 第2回 2020年6月20日(土) オンライン開催

出席(24名): 支部長、副支部長2、幹事18、監事2、オブザーバー1

##### 3.3) 第3回 2020年7月17(金)～24日(金) メール審議

出席(27名): 支部長、副支部長2、幹事21、監事2、オブザーバー1

##### 3.4) 第4回 2020年11月6日(土) オンライン開催

出席(22名): 支部長、副支部長2、幹事16、監事2、オブザーバー1

##### 3.5) 第5回 2021年2月11日(木) オンライン開催

出席(25名): 支部長、副支部長2、幹事20、監事2

#### (4) 学会賞の推薦

功労賞候補として、貝沼やす子氏と布施谷節子氏を推薦した。

学会賞候補として、川端博子氏を推薦した。

奨励賞候補として、川嶋比野氏と高橋美登梨氏を推薦した。

#### (5) 名誉会員候補として、石井克枝氏を推薦した。

### 2. 財務関係

2020年度も若手の会を組織内の決算に組み入れた決算案とした。(補助金は組織内部での移動になるため、相殺される。)

予定していた見学・講演会(若手の会)が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、それに代わって、オンラインワークショップ(A企画)を企画し、卒論・修論研究発表会(B企画)は予定通り実施された。そのうち、A企画は、本部の活動助成金が承認された。当期分の支出は本部交付金と活動助成金の範囲内であり、予算支出合計額を下回った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で講習会企画が中止になり収入が減った。しかし、企画の変更でオンラインでの開催になったこと、役員会をオンラインで開催したため会議費や交通費が発生しなかったことなどから支出も減った。

### 3. 企画関係

#### (1) 研究発表会 (規約第4条 (1))

##### 1.1) 第23回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

日時：2021年2月11日（木） 13：00～16：00  
会場：埼玉大学（オンライン開催）  
演題数：18件（卒論10件、修論8件）  
参加者：95名（学会員56名、非会員39名、（内訳－教員46名、学生44名、  
一般5名）

(2) 講習会（規約第4条（2））⇒新型コロナ感染拡大防止対策のため中止

2.1) 統計講習会(第6回)

日時：2020年4月18日（土）13：30～16：40  
会場：大妻女子大学千代田キャンパス  
講師：大澤清二氏（大妻女子大学副学長、理事、人間生活文化研究所長、大妻女子大  
学博物館長、総合情報センター所長）  
「生活科学のための統計解析」

(3) 講演・講習会（規約第4条（2））

3.1) オンラインワークショップ

日時：2020年11月21日（土曜日）13:30～15:00  
会場：Zoom 及び YouTube Live  
内容：「オンラインワークショップを通じてSDGsを学ぶ」  
講師：井澤友郭氏（こども国連環境会議推進協会）  
参加者：83名（学会員73名、非会員10名）

#### 4. 広報関係

(1) 関東支部ホームページの管理

関東支部の活動内容のHP掲載は、2020年度はイベント案内5回（ワークショップ1件、卒論・修論発表会1件、通常総会・統計講習会2件（うち1件は前年度計画のもの）、イベントアルバム2回（ワークショップ1件、卒論・修論発表会1件）、議事録5回である。

(2) 関東支部メールニュースの配信

家政学会本部にメールアドレスを登録している会員に対し、HP掲載と前後してメルマガを配信している。ワークショップ、卒論・修論発表会、通常総会・統計講習会について5回の配信を学会本部に依頼した。

(3) その他の活動

通常総会、ワークショップ、家政学関連卒論・修論発表会、講習会のイベントについては、HPによる案内だけでなく、学会誌への告知を行い、コロナ禍に対応した広報活動を行った。

#### 5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況（2021年2月現在）

正会員	69名
学生会員	0名
<hr/>	
計	69名

(2) 幹事会開催

第1回	2020年4月22日（水）	メール審議	出席：幹事	計7名
第2回	2020年9月18日（金）	オンライン開催	出席：幹事	計11名

第3回 2020年12月18日(金) メール審議 出席：幹事 計11名  
第4回 2021年3月4日(木) オンライン開催 出席：幹事 計11名

(3) 企画関係(規約第4条(2))

2020年度 関東支部・若手の会夏季セミナー「災害時に活かせる家政学」を企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ホームページの管理

2016年11月から本部の一括管理となった若手の会ホームページは、2020年度も引き続き本部で管理が行われた。

## 【第二号議案】2020年度収支決算報告の件

### 2020年度 関東支部収支決算

#### 収入の部

	予算	決算	差異	備考
本部交付金	597,250	592,250	-5,000	本部交付金
本部活動助成金	300,000	33,411	-266,589	活動助成金(人金割:89411円)
事業収入	20,000	-	-20,000	
利息	10	11	-1	
当期収入合計(a)	917,260	625,672	-291,588	
前期繰越収支差額	1,094,130	1,094,130	-	
収入合計(b)	2,011,390	1,719,802	-291,588	

#### 支出の部

	予算	決算額	差異	備考
1 管理費				
会議費	50,000	-	-50,000	
旅費交通費	110,000	-	-110,000	
通信・運搬費	81,500	370	-81,130	
消耗品費	52,798	539	-52,259	
人件費	20,000	-	-20,000	
印刷費	30,000	-	-30,000	
支払請負金	3,000	1,100	-1,900	
小計	347,298	2,009	-345,289	
2 事業費				
総会費	90,000	-	-90,000	
見学・講習会	365,000	33,411	-331,589	
研究発表会	240,000	50,562	-189,438	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	-	-40,000	
選挙費	-	-	-	
小計	735,000	83,973	-651,027	
3. その他				
予備費	10,000	-	0	
小計	10,000	0	0	

当期支出合計(c)	1,092,298	85,982	-1,006,316	
当期収支差額(a)-(c)	-175,038	539,690		
次期繰越収支差額(b-c)	919,092	1,633,820		

#### 現金預金の期末残高内訳

	2020年度
手許現金	19,793
若手の会繰越金	221,705
銀行預金(普通預金)	1,392,322
銀行預金(定期預金)	0
合計	1,633,820

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2020年度(令和2年度)の計算書類が正しく示されているものと認めます

2021年 4 月 1 日

監事 小西 史子



監事 飯島 久美子



支部名：関東支部

2020年度 関東支部預金収支決算

一般

	費目名	収入金額	支払金額	備考
収入	繰入金	1,094,130		
	学会本部より	625,661		
	事業収入	-		
	利息	11		
	寄付金	-		若手の会繰越金
	収入合計		1,719,802	
支出	引出		241,498	支部19,793円、若手の会221,705円
	事業		84,882	
	手数料		1,100	支払負担金
	支出合計		327,480	
収支差額(次期繰越額)				1,392,322

定期預金

※平成23年10月18日に解約し普通預金に振込

	費目名	収入金額	支払金額	
収入	新規預け入れ	-		
	利息	-		
	収入合計	-		
支出	支出合計		-	
収支差額(次期繰越額)				-

貸借対照表 (②関東支部)  
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	19,793	19,793	0
普通預金(みずほ銀行)	1,392,322	951,723	440,599
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
関東支部若手の会	221,705	122,614	99,091
流動資産合計	1,633,820	1,094,130	539,690
2. 固定資産			
支部大会基金引当預金			
定期預金			
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
固定資産合計	0	0	0
<b>資産合計</b>	<b>1,633,820</b>	<b>1,094,130</b>	539,690
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
<b>負債合計</b>			0
III 正味財産の部			
正味財産			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	1,633,820	1,094,130	539,690
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>1,633,820</b>	<b>1,094,130</b>	539,690

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2020年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2021年        3 月 2 / 日

監査    小西 史子 

監査    飯島久美子 



## 【第三号議案】2020年度監査報告の件

一般社団法人日本家政学会関東支部規約に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、支部事業に参加し、その実行状況を観察し、会計幹事から決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

### 1. 総務関係

支部に所属する会員数は、2021年4月1日現在で1,005名（正会員938名、学生会員67名）であり、2020年度より20名減少した。1年前の減が55名、その前が37名であることを考えると、急激な減少である。関東支部だけの問題ではないと考えるが、支部では何ができるか、考えていく必要がある。

役員会の出席状況は、オンライン開催により良好であり、適正かつ効率的な運営に努めていたと判断する。また、功労賞候補者の推薦など本部との連携も行われている。

### 2. 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく示している。

2020年度は、当期収支差額が約54万円の黒字であり、前年度（黒字約20万円）に続き良好であった。これは、新型コロナウイルス感染拡大により、収入支出ともに減ったが特に支出が大きく減ったことが主な理由である。今後はコロナ禍に対応した事業の見直しを図るとともに、事業に対する本部からの活動助成金の獲得を図り、適正な収支バランスを保って頂きたい。

### 3. 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく示している。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大により講習会（統計講習会）は中止となったが、研究発表会（卒業論文・修士論文発表会）、講演・講習会（「オンラインワークショップを通じてSDGsを学ぶ」）はオンライン開催され、盛会であった。生活に密接に関わるさまざまな現場との交流や学生の教育機会はオンラインであっても提供されることが望ましいと考える。卒業論文・修士論文発表会は、演題数が前年度より減ったが、参加者は前年度より多く、努力されたことが伺える。

### 4. 広報関係

支部ホームページ（本部で管理・更新）にはイベント案内や議事録などを掲載した。支部会員へのメールニュース（本部より配信）は、メールアドレスを登録している会員に対し見学会・講演会の案内を送信した。その他、学会誌への告知も広報に役立っている。

### 5. 若手の会

2020年度は、夏季企画「災害時に活かせる家政学」の講演会・体験会を企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

以上、当支部の事業及び運営は、一般社団法人日本家政学会定款もしくは一般社団法人日本家政学会関東支部規約に則り、概ね順調に行われている。

## 【第四号議案】2021年度事業計画案

### 1. 総務関係

#### (1) 総会（規約第 12 条（1））

##### 1.1) 通常総会

2021年4月24日（土）にオンラインで開催する。

##### 1.2) 臨時総会

次期役員選挙後、臨時総会を2021年11月頃を開催する。

#### (2) 役員会開催（規約第 12 条（4））

年6回の開催を予定している。

#### (3) 選挙管理委員会の開催（規約第 8 条）

次期役員選挙のための選挙管理委員会を開催し、役員選挙の実務を行なう。

#### (4) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

関東支部会員の学会賞・奨励賞・功労賞の候補者の推薦を行う。また、公益信託家政学研究助成基金の助成などについても申請することを推奨する。

### 2. 財務関係

昨年度に引き続き、若手の会の見学講演会を支部の行事として組み入れている。交付金は前年度に比べ増額されている。これは選挙費用が含まれるためである。支部本体の管理費関係では会議費、旅費交通費などを減額した。これは、新型コロナウイルス感染の現状で、役員会はオンラインで開催されるためである。今後の状況により事業企画が対面からオンラインに変更になることも考えられるが、事業関係費では見学会・講習会、研究発表会は前年度予算とほぼ同額とした。選挙費用は前回の選挙費用を踏まえて計上している。

### 3. 企画関係

#### (1) 研究発表会（規約第 4 条（1））

##### 1.1) 第 24 回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

2022年2月に日本女子大学での開催を予定している。

#### (2) 講習会（規約第 4 条（2））

##### 2.1) 研究・教育活動に役立つ講習会

2021年4月24日統計講習会をオンライン開催する。

#### (3) 見学会・講演会（規約第 4 条（2）（3））

3.1) 見学会または（オンライン）講演会を開催する。

### 4. 広報関係

学会誌とともにホームページへの掲載により、関東支部の活動と密接に連動させた内容を案内・報告し、会員に対して情報提供を行う。また、日本家政学会メルマガ関東の配信を活用し、支部で開催する講習会、見学会ならびに発表会等への参加人数の増加に努める。迅速性を活かし、参加登録状況に応じて再度メルマガ関東の配信を行う。メールアドレス登録の呼びかけにも努めていく。

## 5. 若手の会の活動

2020年度は夏

季セミナーを中止としたため、2021年度に改めて「災害時に活かせる家政学」をテーマに講演会・体験会を実施し、非会員や幅広い年代の参加者を募る。新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン講演会も検討する。また、これまで開催した小規模な勉強会や情報交換会を引き続き行うこととする。若手の会幹事会は定期的を開催し、活発な意見交換を行う。

## 【第五号議案】2021年度収支予算案

### 2020年度関東支部 予算案

#### 収入の部 支部本体のみ

	予算	前年度予算	差異	備考
本部交付金	746,000	597,250	-148,750	本部交付金+選挙補助金
本部活動助成金	300,000	300,000	-	
事業収入	20,000	20,000	-	
利息	10	10	-	
当期収入合計(a)	1,066,010	917,260	-148,750	
前期繰越収支差額	1,633,820	1,094,130	-539,690	
収入合計(b)	2,699,830	2,011,390	-688,440	

#### 支出

	予算	前年度予算	差異	備考
1 管理費				
会議費	30,000	50,000	-20,000	
旅費交通費	60,000	110,000	-50,000	
通信・運搬費	30,000	81,500	-51,500	
消耗品費	30,000	52,798	-22,798	
人件費	20,000	20,000	-	
印刷費	20,000	30,000	-10,000	
支払請負金	3,000	3,000	-	
小計	193,000	347,298	154,298	
2 事業費				
総会費	90,000	90,000	-	
見学・講習会	350,000	365,000	-15,000	
研究発表会	240,000	240,000	-	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	40,000	-	
選挙費	190,000	-	190,000	
小計	910,000	735,000	-175,000	
3. その他				
予備費	10,000	10,000	-	
小計	10,000	10,000	-	

当期支出合計(c)	1,113,000	1,092,298	20,702	
当期収支差額(a)-(c)	-46,990	-175,038	128,048	
次期繰越収支差額(b-c)	1,586,830	919,092	667,738	